

## 令和元年度 乳幼児家庭の教育力向上事業の取組みについて

### 1. 啓発資料「乳幼児期に育みたい！未来に向かう力」の作成について

#### (1) 目的

- 保護者が、子どもの「非認知能力」の育成についての知識や子どもへの接し方について学ぶ。
- 子育て支援や家庭教育支援の関係者が、研修や講座、訪問支援等、保護者へ関わる際に活用する。

#### (2) 作成の経過

- 7月 第1回推進会議
- 7月～8月 原稿案の確認
- 10月 業者作成原稿の確認
- 12月 第2回推進会議
- 1月～3月 印刷・製本

### 2. 「非認知能力」をテーマにした親学習教材の作成について

#### (1) 親学習教材

- 子育ての一場面を記した「エピソード」と、話し合いのポイントを記したもの。
- 子育ての「正解」を示すのではなく、参加者が登場人物の行動などを問題として感じるように作成。
- これにより一人ひとりの参加者が自分の意見を持ち、主体的に学習に参加することを図る。

#### (2) 教材案の内容

がまんする	目標に向かってがんばる力
	ショッピングセンターでおもちゃを買ってほしいとねだる子ども（5歳）と困ってしまう母親。祖母の声かけによって子どもは気持ちを切り替えたものの、「がまん」をどう教えていいのか悩む親の姿を描く教材。
自信をもつ	気持ちをコントロールする力
	幼稚園でおにぎりを作ってきた子ども（5歳）が、自信满满で家でも作る。うれしく思う反面、もっとやりたいと言い出すのではないかと不安を感じている親の葛藤を描く教材。
かかわる	人と関わる力
	つどいの広場に遊びに来ている子どもたちが、他の子の使っているおもちゃをつかんでしまったり、大人の助言を得て一緒に遊んだりする。子ども同士で遊ぶことや、大人から子どもへの声掛けなどに悩む親の姿を描く教材。

#### (3) 試行実施

府内幼稚園で親学習教材案を使って親学習を実施し、話し合いのポイント等内容を検討

### 3. 乳幼児家庭の教育力向上事業に係る人材の養成について

基本研修① 7月30日	<p>テーマ：今注目の「非認知能力」とは？ どうやって育むの？ ～ 子どもたちの「非認知能力」を育む家庭教育を支援するために ～</p> <p>講師：京都大学 大学院教育学研究科 森口 佑介 准教授</p>
基本研修② 9月2日	<p>テーマ：気になる子ども、保護者 どう付き合う？ ～ 子どもの『非認知能力』の育成に関わって ～</p> <p>講師：常磐大学 人間科学部心理学科 秋山 邦久 教授</p>
実践研修 (親学習①) 1月24日予定	「非認知能力」をテーマにした親学習新教材の効果的な進め方の研究（1）
実践研修 (親学習②) 3月6日予定	「非認知能力」をテーマにした親学習新教材の効果的な進め方の研究（2） 講師：京都大学 大学院教育学研究科 森口 佑介 准教授
実践研修 A 1月24日予定	<p>テーマ：乳児期に育まれる力と家庭への支援方法について学ぶ (安全基地、アタッチメント)</p> <p>講師：国立教育政策研究所 篠原 郁子 主任研究員</p>
実践研修 B 11月28日	<p>テーマ：幼児期に育みたい力とその育成方法について ～ 子どもの非認知能力を育む視点から、保育と子育て支援を考える ～</p> <p>講師：大阪総合保育大学 大方 美香 大学院教授</p>
実践研修 C 12月11日予定	<p>テーマ：保護者の心に届けるための よりよい支援の在り方について</p> <p>講師：フェリアン 津村 薫 副所長</p>
実践研修 D 2月予定	<p>テーマ：絵本を通じて育む、子どもの非認知能力について (親子のコミュニケーション、子どもの興味関心を広げる絵本の活用方法)</p>